

4月下旬の果樹巡回調査結果の概要について

このことについて、以下のとおりです。病虫害防除等の技術指導の参考にしてください。

記

【東北信】 巡回日：4月22、24日

1 りんご（11ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) ハマキムシ類の被害はみられなかった。
- (3) その他調査対象外の病虫害としては腐らん病に罹病した樹は各地でみられた。黒星病に関して、果樹試験場の「リンゴ黒星病子のう胞子飛散調査」では、4月1日に子のう胞子の飛散が確認され前年よりやや遅かった（前年は3月25～31日の間）。降雨に伴い飛散するので、防除の間隔が開き過ぎないように生育ステージに合わせて薬剤防除を行う。

2 もも（6ほ場）

- (1) セン孔細菌病の春型枝病斑はみられなかった。春型枝病斑を見つけた場合は、健全芽を2～3芽程度含めて大きく切り戻す。
- (2) 灰星病による花腐れはみられなかった。
- (3) ナシヒメシンクイによる芯折れ、モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (4) コスカシバの幼虫・虫糞が散見された。
- (5) モモヒメヨコバイ、クビアカツヤカミキリの寄生はみられなかった。



参考写真1 モモセン孔細菌病の春型病斑（須坂市 果樹試験場）

3 うめ（2ほ場）

- (1) かいよう病の病斑はみられなかった。
- (2) アブラムシの寄生はみられなかった。
- (3) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【中南信】 巡回日：4月21、22、23、24日

1 りんご（11ほ場）

- (1) うどんこ病の発生はみられなかった。
- (2) ハマキムシ類の被害はみられなかった。

2 なし（9ほ場）

- (1) 黒星病の発生はみられなかった。
- (2) ハマキムシ類の被害はみられなかった。

3 もも（3ほ場）

- (1) せん孔細菌病の春型枝病斑はみられなかった。
- (2) 灰星病による花腐れはみられなかった。
- (3) コスカシバによる虫糞排出孔はみられなかった。
- (4) ナシヒメシンクイによる芯折れ、モモハモグリガの被害葉はみられなかった。
- (5) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

4 うめ（2ほ場）

- (1) かいよう病の病斑はみられなかった。
- (2) アブラムシの寄生はみられなかった。
- (3) モモヒメヨコバイの寄生はみられなかった。

【侵入警戒病害虫】

りんご、なしの調査ほ場において、火傷病及びコドリンガの発生はみられなかった。